

# 同志社大学

## 2013年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2014年 3月 18日提出

所 属	職 名	氏 名
グローバル・コミュニケーション学部	准教授	長谷部陽一郎
研 究 題 目	認知言語学に基づいた英語語彙・構文ネットワーク構築のための学習法開発	
研 究 成 果 の 概 要	<p>本研究は、学習者が既に持っている言語知識を活かしながら、一方で根本的な再構築と補強を加え、真に有効なコミュニケーション手段として英語を使いこなせるようになるための学習素材と方法を開発するための研究プロジェクト（2013年～2015年）である。初年度である2013年度には以下のような成果が得られた。</p> <p>(1) 本プロジェクトでは、認知言語学と構文理論に基づいてコーパスから言語情報を抽出することが重要なため、COCA (The Corpus of Contemporary American English) からの言語データ抽出の手法を整理した。また、これについて、北海道大学での研究集会「コーパスと英語学」で「COCA を利用した言語データの採取と統計処理の基本」というタイトルでワークショップを実施した。また、同集会のシンポジウムで研究発表「コーパスから得られる頻度情報とプロトタイプ性について」を行った。なお、ワークショップの配布資料を下記 URL で公開している。 <a href="http://yohasebe.com/wp/wp-content/uploads/2014/02/coca-basic-tutorial.pdf">http://yohasebe.com/wp/wp-content/uploads/2014/02/coca-basic-tutorial.pdf</a></p> <p>(2) 学習者にとって有用な語彙リストと構文リストを作成する上で必要となる素材として TED コーパス検索システムを構築した。これは、プレゼンテーション集積サイト TED (<a href="http://ted.com">http://ted.com</a>) で公開されている約 1,600 の英語プレゼンテーションのトランスクリプトと、そのうち約 1,300 のものに付けられた日本語訳のスク립トをデータベース化し、英語・日本語の語句および品詞情報から検索可能にしたものである。システムは調整の期間を経た後、2014年度に一般公開の予定である。</p> <p>(3) 学習者用の語彙リストおよび構文リストは、上記(2)の TED コーパスから得られた情報を反映させる形で2014年度に完成させる予定である。また、これらの例文を Text-to-Speech 技術を用いて音声化するとともに、学習者による発音をマイクロフォン経由で取得し、Web-Speech-API を用いてチェックするシステムを開発中である。2013年度中に大枠が完成しており、2014年度には公開可能となる見込みである。</p>	